

7,056(2.0%)、資産手助6,671(1.8%)、商業手助6,026(1.7%)、日傭(と單に申告したる者)5,958、及露店(屋臺店を含む)商人行商人呼賣商人5,884(各1.6%)、店員賣子5,328(1.5%)、其の他の林產物業に從事する勞務者4,743(1.3%)等にして、他は孰れも本業總數の百分の一以下にあり。

本業者を更に產業上の地位に依り分つときは、雇主80,992、單獨45,599、使用人235,210にして、使用人最も多く本業を有する者の六割五分を占め、雇主二割二分四厘、單獨一割二分六厘とす。男女別に就て之を見るに、男に在りては總數の場合と同一傾向を示し、使用人六割五厘、雇主二割五分九厘、單獨一割三分六厘なるに對し、女に在りては使用人八割六分四厘、單獨七分九厘、雇主五分七厘の如く使用人の割合著しく多く、雇主及單獨の割合甚だ少なし。

次に本籍、民籍又は國籍別に之を觀察すれば、内地人は其の大部分が使用人にして八割六分四厘を占め、雇主八分二厘之に次ぎ、單獨五分四厘を第三位とす。朝鮮人は其の殆ど全部が使用人にして九割四分を算し、雇主は僅かに六分にして、單獨は全くなし。本島人は其の六割四分四厘が使用人にして、雇主二割二分九厘、單獨一割二分七厘の順序とす。外國人は使用人其の六割二分六厘を占め、單獨二割六分一厘之に次ぎ、雇主一割一分三厘は最も少なし。而して之を總數の場合に比較するときは、内地人及朝鮮人に於ける使用人の割合は著しく高く、雇主と單獨の割合は甚だ低し。又本島人在りては使用人の割合稍々低く、雇主と單獨の割合稍々高し。外國人在りては使用人の割合僅かに少く、單獨の割合高率にして、雇主の割合は低率なり。

更に職業大分類別に之を見るも亦各業を通じて使用人の割合は依然第一位を占め、使用人に次ぎ單獨の割合第二位にあるは商業、水産業、工業、交通業、公務自由業、鑛業、其の他の有業者にして、又使用人に次ぎ雇主の割合第二位にあるは農業のみなり。

一：空開一

職業(大分類)及產業上の地位に依り分ちたる本業者

各人口千中

職業	總數	雇主	單獨	使用人	總數	雇主	單獨	使用人
	361,801	80,992	45,599	235,210	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0
1 農業	257,324	67,800	21,719	167,805	711.2	837.1	476.3	713.4
2 水産業	2,125	494	573	1,058	5.9	6.1	12.6	4.5
3 鑛業	68	4	6	58	0.2	0.0	0.1	0.3
4 工業	31,869	3,791	7,231	20,847	88.1	46.8	158.6	88.6
5 商業	35,814	7,961	12,868	14,985	99.0	98.3	282.2	63.7
6 交通業	9,970	524	1,473	7,973	27.5	6.5	32.3	33.9
7 公務、自由業	12,960	410	1,654	10,896	35.8	5.1	36.3	46.3
8 家事使用人	2,449	2,449	6.8	10.4
9 其の他の有業者	9,222	8	75	9,139	25.5	0.1	1.6	38.9

註 單獨とは人に雇はれず、雇人をも使用せず、家族の補助をも受けずして、一人にて自己の業務を營むものをいふ。

2 無業 無業者は653,745人にして總人口の六割四分あり。内男219,245人即ち男人口の四割二分、女434,500人即ち女人口の八割七分にして、無業者總數の男は33.5%なるに對し、女は66.5%の大多數を以て男を超過せり。而して女100人に付男は50.5人に當る。

無業者の年齢を檢するに、14歳以下397,703人は總數の60.8%を占め、15—59歳228,258人即ち34.9%、60歳以上27,784人即ち4.3%なり。之を男女毎に觀るに、男は其の90.1%(197,453人)の大部分が14歳以下の幼年級なるに對し、女は46.1%(200,251人)なるを以て、男に比し女は著しく低率なり。然るに15—59歳の生産年齢級に在りては、男は7.6%(16,720人)なるに對し、女は48.7%(211,538人)の大多數を以て男を凌駕し、60歳以上の老年級に在りても亦男2.3%(5,072人)に對し、女は5.2%(22,712人)の高率を以て男を超過せり。

無業者は前述の如く幼年級のもの大多數を占むるを以て、其の配偶狀態も亦未婚最も多く67.0%(438,277)を算し、之に次ぐは有配偶の25.9%(169,548)、死別6.9%(44,790)、離別0.2%(1,130)の順位なり。

配偶關係に依り分ちたる無業者

配偶關係	總數	男	女	女百に付男	配偶關係別百分比例		
					總數	男	女
總數	653,745	219,245	434,500	50.5	100.0	100.0	100.0
未婚	438,277	206,951	231,326	89.5	67.0	94.1	53.3
有配偶	169,548	9,050	160,498	5.6	25.9	4.1	36.9
死別	44,790	2,956	41,834	7.1	6.9	1.4	9.6
離別	1,130	288	842	34.2	0.2	0.1	0.2

無業者 653,745 人を職業小分類に依り分てば、從屬者最も多く 562,593 人即ち無業者總數の 86.1% を占め、學生生徒 65,804 人即ち 10.1% 之に次ぎ、其の他の無業者又は職業の申告なき者 20,697 人即ち 3.2% 第三位にあり、他の各業に在る者は之を合算するも 1.0% に達せざる少數なり。更に之を男女別に觀るも亦概ね同一傾向を示す。而して從屬者の割合は女を多數とするも、他の各業に於ける割合は孰れも男を多數とす。

職業(小分類)に依り分ちたる無業者

職業	總數	男	女	女百に付男	各人口千中		
					總數	男	女
總數	653,745	219,245	434,500	50.5	1,000.0	1,000.0	1,000.0
368 恩給、年金等の收入に依る者	48	39	9	433.3	0.1	0.2	0.0
369 小作料に依る者	3,345	2,526	819	308.4	5.1	11.5	1.9
370 抽代、家賃、有價證券、其の他の收入に依る者	723	480	243	197.5	1.1	2.2	0.6
371 學生、生徒	65,804	49,720	16,084	309.1	100.6	226.8	37.0
372 従屬者	562,593	157,674	404,919	38.9	860.6	719.1	931.9
373 精神病院、感化院、慈善病院等に在る者
374 宮公又は慈善團體等の救助を受くる者	79	39	40	97.5	0.1	0.2	0.1
375 在監人	456	442	14	3,157.1	0.7	2.0	0.0
376 其の他の無業者又は職業の申告なき者	20,697	8,325	12,372	67.3	31.7	38.0	28.5

3 副業 総人口 1,015,546 人中副業を有する者 76,240 人あり、人口の 7.51% に當る。うち其の四割九分四厘即ち 37,680 は本業ある者の第二の職業にして、爾餘の 38,560 は本業なき者の内職なり。而して前者は本業者總數の 104.1% に當り、後者は無業者總數の 59.0% に當るを以て、本業ある者の副業率は本業なき者の副業率に比し甚だ高率なり。次に男女別に之を觀察するに、副業を有する男は人口の 65.6% なるに對し、同女は人口の 85.0% なるを以て、女の副業率高く、次に本業ある者の副業率に在りては男 112.7% なるに對し、女は 63.8% なるを以て男の割合多きも、本業なき者の副業率に在りては、男は僅かに 1.4% の低率なるに比し、女は 88.1% の高率を以て遙かに男を凌駕せり。

本業の有無に依り分ちたる副業者

本業の有無	總數	男	女	女百に付男	各人口千に付		
					總數	男	女
總數	76,240	33,944	42,296	80.3	75.1	65.6	85.0
本業ある副業者	37,680	33,646	4,034	834.1	104.1	112.7	63.8
本業なき副業者	38,560	298	38,262	0.8	59.0	1.4	88.1

本業ある副業者 37,680 人を其の本業に依り分てば、其の大多數は農業を本業とする者にして 86.9% を占め、商業を本業とする者 5.8% は多くの懸隔を以て之に次ぎ、以下工業 3.6%、交通業 1.3%、其の他の有業者 0.9%、公務自由業 0.8%、水産業 0.6%、家事使用人 0.1%、鑛業 0.0% (1人) の順位なるも、各本業者總數に對する割合より見ると、農業を本業とする者の副業率は依然第一位にあるも、第二位は水産業にして、以下商業、交通業、工業、其の他の有業者、公務自由業、鑛業、家事使用人の順序なり。而して各業を通じて、女に比し男の副業率高し。

表側の職業を本業とする副業者

職業(本業)	總數	男	女	女百に付男	各本業者千に付		
					總數	男	女
總數	37,680	33,646	4,034	834.1	104.1	112.7	63.8
1 農業	33,757	29,297	3,460	846.7	127.3	139.7	72.6
2 水産業	212	195	17	1,147.1	99.8	116.5	37.7
3 鑛業	1	1	14.7	15.4	...
4 工業	1,354	1,109	245	452.7	42.5	43.6	38.1
5 商業	2,199	1,956	243	804.9	61.4	63.1	50.3
6 交通業	476	463	13	3,561.5	47.7	47.9	43.0
7 公務、自由業	394	297	7	4,242.9	23.5	24.7	7.6
8 家事使用人	30	8	22	36.4	12.2	12.6	12.1
9 其の他の有業者	347	320	27	1,185.2	37.6	38.2	32.3

副業を職業大分類別に觀察するときは、農業最も多く 53.8% を占め、次は工業の 38.8% とす。此の兩者は臺中州に於ける副業中主要なるものにして、以下商業 2.7%、其の他の有業者 2.1%、交通業 1.7%、水産業 0.7%、公務自由業 0.2% とし、家事使用人を副業とする者なし。

之を男女別に見るに、男の最多は農業にして、工業、商業相次ぎ以上三者を以て副業總數の九割餘を占め、他の副業は極めて少なく、又女の最多は工業にして農業之に次ぎ、此の兩者を以て副業總數の九割八分餘を算し、他の

副業は甚だ僅少なり。而して工業を副業とする者は女の割合多く、他の各業は孰れも男の割合多し。

職業(大分類)に依り分ちたる副業者

職業(副業)	総数	男		女百に付男	各人口千中		
		男	女		總数	男	女
1 農業	76,240	33,944	42,296	80.3	1,000.0	1,000.0	1,000.0
2 水産業	40,995	26,514	14,481	183.1	537.7	781.1	342.4
3 鑛業	556	496	60	826.7	7.3	14.6	1.4
4 工業	29,608	23,701	27,238	8.7	388.3	69.8	644.0
5 商業	2,055	1,947	108	1,802.8	27.0	57.4	2.6
6 交通業	1,302	1,148	154	745.5	17.1	33.8	3.6
7 公務、自由業	127	119	8	1,487.5	1.7	3.5	0.2
8 家事使用人
9 其の他の有業者	1,595	1,348	247	545.7	20.9	39.7	5.8

更に副業を職業小分類別とし、其の主なるもののみを擧ぐれば、最多は養畜業主の31,635にして副業總數の41.5%占め、次で麦稈帽バナマ帽製造工24,965(32.7%)、農耕業主5,119(6.7%)、農業手助1,783(2.3%)、畜産手助1,738(2.3%)、日傭(と單に申告したる者)1,422(1.9%)、物品販賣業主1,829(1.7%)、其の他の帽子製造工922(1.2%)、疊表薦莫蘆織職808(1.1%)等にして、他の各業は孰れも副業總數の百分の一以下にあり。

4 職業數 前述の如く本業者361,801人、無業者653,745人あり。然るに本業者中には、本業の外に尙第二の職業たる副業を有する者あり、又無業者中には、片手間に營む内職を有する者あり。而して之等の副業と本業とは、自ら輕重の差ありと雖も、而も生産機構の一部を成すに異なる所なし。以て本項に於ては、之等を總括したる職業數に就き観察せんとす。即ち本業361,801と副業76,240を合算したる438,041は所謂職業數にして、其の實際從業人員は400,361人あり、人口の三割九分四厘に當る。うち本業のみに從事する者324,121人にして、從業人員の81.0%を占め、又一人にて本業たる第一位の職業と副業たる第二位の職業の兩者に從事する者37,680人(9.4%)あり、又本業なく副業(内職)にのみ從事する者38,560人(9.6%)なり。

次に職業數438,041を職業大分類に依り分てば、農業は其の數最も多く68.1

%を占め、以下工業14.0%、商業8.6%、公務自由業3.0%、交通業2.6%、其の他の有業者2.5%、水産業及家事使用人各0.6%、鑛業0.0%(70)の順序なり。

更に之を職業小分類別に總數の百分の一以上のものを擧ぐれば、即ち次の如くにして、之を本業の場合に比すれば、第三位に養畜業主を又第四位に麦稈帽バナマ帽製造工を加へたるは、本業に於ては兩者とも其の數甚だ僅少なりしも、副業に於ては養畜業主首位を占め、麦稈帽バナマ帽製造工之に次ぐの大多數なるを以てなり。作男作女の日傭(と單に申告したる者)の下位に、又商業手助の露店(屋臺店を含む)商人行商人呼賣商人の下位に降りたるは、之等を副業とする者は極めて渺なきがためなり。

職業(小分類)に依り分ちたる職業數(百分の一以上)

職業	職業數	職業別百分比例	職業	職業數	職業別百分比例
5 農業手助	128,080	29.2	366 日傭(と單に申告したる者)	7,380	1.7
1 農耕業主	92,978	21.2	3 作男、作女	7,063	1.6
8 養畜業主	32,872	7.5	271 露店(屋臺店を含む) 商人、行商人、呼賣商人	6,249	1.4
150 麦稈帽、バナマ帽製造工	27,097	6.2	268 商業手助	6,157	1.4
4 其の他の農業労務者	22,156	5.1	267 店員、賣子	5,343	1.2
263 物品販賣業主	13,909	3.2	24 其の他の林産物業に從事する労務者	4,825	1.1
12 鑛業手助	8,409	1.9			

註 職業分類に就ては卷末附録「職業分類」参照すべし。

産業

本調査に於ては、本業の所属する産業に就てのみ之を調査せり。而して本項に於て單に産業と稱するは、産業大分類1乃至9を指稱するものにして、又有業者と稱するは之に所属する者なり。今本業361,801を其の所属する産業の種類に依り區別するときは、農業に所属するもの最も多く259,038即ち總數の71.6%を占め、以下商業11.5%、工業8.8%、公務自由業4.1%、交通業2.4%、家事0.9%、水産業0.6%、其の他の産業0.1%、鑛業0.0%(70)の順位とす。男女別に之を觀れば、男女とも其の最多は農業にして、男に在りては其の70.8%を占め、女に在りては其の75.3%に當る。以下男に於ては商業、工業、公務自由業、交通業、水産業、家事、其の他の産業、鑛業の順位にして、又女に於ては農業に次で工業、商業、家事、公務自由業、水産業、交通業、其の他の産業、鑛業の順序なり。而して總數の場合に比し女の割合多きものは、農業、工業、家事、水産業にして

其の他の各業に在りては孰れも男の割合多し。次に各業に於ける男女の權衡は、家事の女100人に對する男64.3人の割合は女の超過なるも、他の各業に於ては孰れも男の超過にして、就中交通業、其の他の産業、鑛業等に於ける男は女の12倍以上に當る。

産業(大分類)に依り分ちたる有業者

産業	總數	男	女	女百に付男	各人口千中		
					總數	男	女
總數	361801	298581	63220	472.3	1000.0	1000.0	1000.0
1 農業	259038	211466	47572	444.5	716.0	708.2	752.5
2 水産業	2140	1689	451	374.5	5.9	5.7	7.1
3 鑛業	78	72	6	1200.0	0.2	0.2	0.1
4 工業	31933	25694	6239	411.8	88.3	86.1	98.7
5 商業	41819	36332	5487	662.1	115.6	121.7	86.8
6 交通業	8665	8519	146	5834.9	23.9	28.5	2.3
7 公務、自由業	14748	13359	1389	961.8	40.8	44.8	22.0
8 家事	3152	1234	1918	64.3	8.7	4.1	30.3
9 其の他の産業	228	216	12	1800.0	0.6	0.7	0.2

州下に於ける産業の分布状態を検するに、農業に在りては彰化郡、員林郡、北斗郡、大甲郡、大屯郡の順序に總數の一割五分乃至一割を算し、他の市郡に於ける割合は孰れも其の以下とす。水産業に在りては彰化、大甲、北斗の三郡を以て既に總數の九割餘を算し、他の各市郡に於ける割合は極めて僅少なり。鑛業に在りては大甲、能高、彰化の三郡を以て總數の約七割を算し、其の他の地方に於ける鑛業は極めて僅少なり。工業に在りては彰化郡、大甲郡、臺中市に於て總數の四割七分餘を占め、他の各郡に於ける工業は孰れも總數の一割以下とす。商業に在りては彰化郡、臺中市、員林郡、大甲郡に於て總數の六割二分餘を算し、他の地方に於ては孰れも總數の一割以下とす。交通業に在りては彰化郡、臺中市、員林郡に於て總數の四割九分を算し、他の各郡に於ける割合は孰れも總數の一割以下とす。公務自由業に在りては臺中市に於て總數の二割六分を占め、彰化郡の一割二分之に次ぎ、他の各郡に於ける割合は孰れも總數の一割以下とす。家事に在りては臺中市、大屯郡、彰化郡、大甲郡、豐原郡の順序に總數の二割三分乃至一割を算し、他の各郡に於ては孰れも其の以下とす。其の他の産業に在りては彰化郡、南投郡、大甲郡、豐原郡、臺中市の順序に總數の二割五分乃至一割を算し、他の地方に於

ては孰れも其の以下なり。之を要するに州下に於ける産業の16.4%は彰化郡に集中し、員林郡の13.2%、北斗郡の10.8%、大甲郡の10.6%等は孰れも一割以上を占め、以下大屯郡、南投郡、豐原郡、東勢郡、能高郡、臺中市、新高郡、竹山郡の順序に8.7%乃至4.2%とし、水面に於ける0.0%(1)を最少とす。

産業(大分類)に依り分ちたる市郡別有業者の割合

市、郡	總數	市郡別百分比例									
		1 農業	2 水産業	3 鑛業	4 工業	5 商業	6 交通業	7 公務、自由業	8 家事	9 其の他の産業	
臺中市	100.0	5.4	1.0	1.1	6.4	13.1	16.6	15.9	25.9	23.0	10.1
大屯郡	8.7	10.0	2.3	9.0	4.5	5.1	6.0	5.1	19.8	8.3	
豐原郡	7.1	6.5	0.4	2.6	9.8	8.0	9.2	8.3	10.3	12.7	
東勢郡	5.8	6.3	0.0	...	5.2	2.8	4.3	9.5	2.0	0.9	
大甲郡	10.6	10.3	25.6	39.7	13.5	10.8	9.6	7.3	12.4	12.7	
彰化郡	16.4	14.7	47.4	12.8	20.8	22.6	20.1	11.6	14.8	25.4	
員林郡	13.2	14.2	0.8	9.0	9.9	12.5	12.7	8.5	3.3	7.5	
北斗郡	10.8	12.7	21.2	...	5.6	6.7	3.7	5.2	2.8	1.8	
南投郡	7.5	8.4	0.5	...	4.1	6.1	5.3	5.6	4.7	13.6	
新高郡	4.7	5.2	0.3	1.3	4.0	2.3	6.1	4.1	2.8	1.3	
能高郡	5.6	6.3	0.4	16.6	3.7	3.4	3.2	6.0	2.7	3.5	
竹山郡	4.2	4.4	0.0	2.6	5.8	3.1	3.9	2.9	1.4	2.2	
水面	0.0	...	0.0	

以上は總數に對する各市郡の割合にして、人口多き地方に産業も亦多く、人口寡き地方に産業も亦比較的少なるべきは勿論なり。然るに水面は之を措き、今各市郡に於ける産業總數を各其の人口の多寡に對比せしむれば、即ち1,000人に対する比率の最も大なるは新高郡に於ける519.0とし、次で東勢郡の510.6、能高郡の452.3、竹山郡の412.6、臺中市の362.2、大屯郡の356.6、彰化郡の350.1、北斗郡の344.3、南投郡の342.3、豐原郡の326.0、員林郡の312.2、大甲郡の310.0の如くにして、人口最も寡なき新高郡首位にあり、人口最も多き彰化郡の比率は第七位にあり、又人口に於て第二位にある員林郡の比率第一位に、及人口に於て第三位にある大甲郡の最後に下りたるが如きは特異

の現象とす。以上に依つて考ふるに、人口多き地方に比較的産業の數多きも、産業率の高低は人口の多寡を以て直ちに論断し得ざるなり。

産業大分類別有業者の年齢を検するに、農業に在りては14歳以下の幼年級9.3%あり、15—19歳に於て17.5%に激増して最高率を示せるも、爾餘は年齢級の上昇に伴ひて漸減し、60歳以上の3.0%に至る。水産業に在りては14歳以下の幼年級6.1%あり、15—19歳に於て15.9%に昇騰して最高率を示すも、以後は40—44歳に例外ある外、漸次減少して60歳以上の3.2%に至る。鑛業に在りては14歳以下の幼年級1.3%あり、15—19歳に於ては16.7%に激増せるも、20—24歳に於ては15.4%に減少し、25—29歳に於ては再び17.9%に上昇して最高率を示すも、爾餘は一上一下甚だ不定型ながら次第に減少の傾向を以て60歳以上の1.3%に至る。工業に在りては14歳以下の幼年級3.9%あり、15—19歳に於ては16.7%に激増し、20—24歳に於ては更に17.7%となり最高率を示すも、爾後は漸減して60歳以上の1.8%に至る。商業に在りては14歳以下の幼年級3.9%あり、15—19歳に於ては15.8%に激増して最高率を示すも、爾餘は漸減して60歳以上の3.0%に至る。交通業に在りては14歳以下の幼年級1.6%あり、15—19歳に於ては10.6%に増加し、20—24歳に於ては19.3%となり、25—29歳に於ては更に19.5%となり最高率を示すも、以後は漸減して60歳以上の1.1%に至る。公務自由業に在りては14歳以下の幼年級1.7%あり、15—19歳に於ては12.3%に増加し、20—24歳に於ては更に昇騰して22.2%となり最高率を示すも、以後は漸次減少して60歳以上の2.1%に至る。家事に在りては14歳以下の幼年級14.7%あり、15—19歳に於ては19.0%となり最高率を示すも、爾後は一上一下甚だ不規則にして、55—59歳の3.6%を以て最低率とし、60歳以上は4.4%あり。其の他の産業に在りては14歳以下の幼年級0.9%あり、爾餘は一上一下常ならず、40—44歳の12.7%を最高率とし、60歳以上は7.9%とす。

之を男女各別に見れば、男に於ける農業、水産業、家事の三者は15—19歳を最多とし、20—24歳を最多とするものは鑛業、工業、商業、公務自由業等にして、交通業は25—29歳、其の他の産業は40—44歳を最多とす。又女に在りては、其の他の産業に於ける例外ある外、各業を通じて15—19歳を最高率とす。

産業(大分類)及年齢(十一区分)に依り分ちたる有業者の割合

年齢	總數	年齢級別百分比例								
		1 農業	2 水産業	3 鑛業	4 工業	5 商業	6 交通業	7 公務、自由業	8 家事	9 其の他の産業
總數	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0—14	7.7	9.3	6.1	1.3	3.9	3.9	1.6	1.7	14.7	0.9
15—19	16.9	17.5	15.9	16.7	16.7	15.8	10.6	12.3	19.0	11.4
20—24	15.7	15.1	14.7	15.4	17.7	15.3	19.3	22.2	11.7	12.3
25—29	13.1	12.4	12.6	17.9	15.4	13.5	19.5	17.3	9.4	10.5
30—34	11.0	10.4	10.5	11.5	12.8	11.7	16.1	13.3	8.7	8.8
35—39	8.6	8.1	8.3	10.2	10.2	9.8	11.4	9.9	6.9	10.1
40—44	8.0	7.7	9.5	11.5	8.3	9.0	8.8	8.3	7.6	12.7
45—49	7.2	7.2	8.0	9.0	6.4	8.1	6.1	6.4	8.2	10.5
50—54	5.3	5.5	6.5	2.6	4.2	6.0	3.7	3.8	5.8	7.9
55—59	3.6	3.8	4.7	2.6	2.6	3.9	1.8	2.7	3.6	7.0
60以上	2.9	3.0	3.2	1.3	1.8	3.0	1.1	2.1	4.4	7.9

産業大分類別有業者の配偶状態は未婚121,008(33.4%)、有配偶219,969(60.8%)、死別17,312(4.8%)、離別3,512(1.0%)にして、其の所属せる各業別に之を観察するに、總數の場合に比し未婚の割合多きものは家事、鑛業、工業、農業にして44.0%乃至34.1%の間にあり、商業の30.8%以下交通業の26.2%に至る各業の割合は總數の場合に比し低率なり。又有配偶の割合多きものは交通業、公務自由業、水産業、商業、其の他の産業にして68.8%乃至61.0%の間にあり、農業の60.6%以下家事の37.2%に至る各業は其の割合少なし。死別は農業の4.5%、交通業の3.9%、公務自由業の3.4%は其の割合少なく、家事の15.7%を始め鑛業の5.1%に至る各業の割合は孰れも總數の場合に比し高率なり。離別の割合少なきものは公務自由業の0.9%と農業の0.8%にして、水産業は總數と同率にあり、家事の3.1%以下交通業の1.1%の間にある各業の割合は孰れも總數の場合に比し高率なり。

産業(大分類)及配偶關係に依り分ちたる有業者

産業	総数	未婚	有配偶	死別	離別	配偶關係別百分比例				
						総数	未婚	有配偶	死別	離別
總數	361,801	121,003	219,969	17,312	3,512	100.0	33.4	66.8	4.8	1.0
1 農業	259,038	88,179	157,065	11,655	2,139	100.0	34.1	60.6	4.5	0.8
2 水産業	2,140	643	1,356	120	21	100.0	30.0	63.4	5.6	1.0
3 鎌業	78	28	45	4	1	100.0	35.9	57.7	5.1	1.3
4 工業	31,933	11,023	18,420	1,980	510	100.0	34.5	57.7	6.2	1.6
5 商業	41,819	12,870	26,233	2,201	515	100.0	30.8	62.7	5.3	1.2
6 交通業	8,665	2,268	5,970	335	92	100.0	26.2	68.8	3.9	1.1
7 公務、自由業	14,748	4,549	9,570	499	130	100.0	30.8	64.9	3.4	0.9
8 家事	3,152	1,388	1,171	496	97	100.0	44.0	37.2	15.7	3.1
9 其の他の産業	228	60	139	22	7	100.0	26.3	61.0	9.6	3.1

産業大分類別有業者の職業を検するに、農業 259,038 中農業を職業とする者 98.8% を占め、其の他の有業者 0.9% 之に次ぎ、他の職業の者は極めて少なく、水産業、鎌業、家事使用者を職業とする者なし。水産業 2,140 中水産業を職業とする者 99.1% を占め、次で其の他の有業者 0.8%、交通業 0.1% にして、他の職業の者なし。鎌業 78 中鎌業を職業とする者 39.8% あり、其の他の有業者 47.4% は其の數最も多く、交通業 9.0%、公務自由業 3.8% にして、農業、水産業、工業、商業、家事使用者等を職業とする者なし。工業 31,933 中工業を職業とする者 85.0% を占め、次で其の他の有業者 8.9%、交通業 2.6%、公務自由業 1.9% 等にして、他の職業の者は極めて少なく、水産業と家事使用者を職業とする者なし。商業 41,819 中商業を職業とする者 84.6% を占め、次で工業 6.9%、公務自由業 3.2%、其の他の有業者 2.7%、交通業 2.4% 等にして、他の職業の者は極めて少なく、家事使用者を職業とする者なし。交通業 8,665 中交通業を職業とする者 79.1% を占め、次で工業 10.3%、其の他の有業者 5.4%、公務自由業 4.8% 等にして、農業と商業を職業とする者は極めて少なく、其の他の職業の者なし。公務自由業 14,748 中公務自由業を職業とする者 70.2% を占め、次で其の他の有業者 11.0%、農業 7.8%、工業 5.4%、交通業 4.9%、商業 0.7% 等にして、水産業を職業とする者は極めて少なく、鎌業と家事使用者を職業とする者なし。家事 3,152 中家事使用者を職業とする者 77.7% を占め、次で其の他の有業者 18.2%、交通業 1.7%、工業 1.3% 等にして、他の職業の者は極めて少なく、水産業及鎌業

を職業とする者なし。其の他の産業 228 中其の他の有業者を職業とする者 81.1% を占め、次で公務自由業 9.6%、商業 5.3%、農業 1.8%、工業 1.3%、交通業 0.9% 等にして他の職業の者なし。

有業者を更に産業小分類に分ち、其の主なるものを擧ぐれば、農作一小作 (101,308) は其の數最も多く、總數の 28.0% に當り、次は農作一自作 (87,030) の 24.1%、農作一自作兼小作 39,331 (10.9%) にして、孰れも一割以上を占め、以下園藝、養畜、各種物品販賣、土木建築に関する業、其の他の林產物業、地方事務(他に分類せられる)の順序に 16,974 乃至 4,078 の間にあり 4.7% 乃至 1.1% の割合を示し、他の各業に在りては孰れも總數の百分の一以下とす。

産業(小分類)に依り分ちたる有業者 (百分の一以上)

産業	實数	割合%	産業	實数	割合%
2 農作一小作	101,308	28.0	210 各種物品販賣	5,883	1.6
1 農作一自作	87,030	24.1	159 土木建築に関する業	5,552	1.5
3 農作一自作兼小作	39,331	10.9	14 其の他の林產物業	5,037	1.4
4 園藝	16,974	4.7	248 地方事務(他に分類せられる)	4,078	1.1
5 養畜	7,610	2.1			

産業上の地位に就ては職業の部に於て記したるが如く、雇主 80,992 (22.4%)、單獨 45,599 (12.6%)、使用者 235,210 (65.0%) にして、之を産業大分類別に觀察するも亦各業を通じて使用者最も多數を占む。今其の割合の多き順序に擧ぐれば家事、鎌業、公務自由業、交通業、工業、農業、其の他の産業、商業、水産業にして家事は其の全部、其の他の各業は其の 87.2% 乃至 50.1% とす。而して農業を除く他の各業は使用者に次ぎ單獨の割合第二位にあり、獨り農業に於ては使用者に次ぎ雇主の割合第二位にあり、他の各業に於ける雇主の割合は孰れも第三位なり。

産業(大分類)及産業上の地位に依り分ちたる有業者

産業	総数	雇主	單獨	使用者	産業上の地位別百分比			
					總數	雇主	單獨	使用者
總 数	361 801	80 992	45 599	235 210	100.0	22.4	12.6	65.0
1 農 業	259 038	67 806	27 716	169 516	100.0	26.2	8.4	65.4
2 水 產 業	2 140	494	573	1 073	100.0	23.1	26.8	50.1
3 鑄 業	78	4	6	68	100.0	5.1	7.7	87.2
4 工 業	31 933	3 786	7 226	20 921	100.0	11.9	22.6	65.5
5 商 業	41 819	7 966	12 873	20 980	100.0	19.0	30.8	50.2
6 交 通 業	8 665	522	1 472	6 671	100.0	6.0	17.0	77.0
7 公 務、自由業	14 748	403	1 653	12 692	100.0	2.7	11.2	86.1
8 家 事	3 152	3 152	100.0	100.0
9 其の他の産業	228	11	80	137	100.0	4.8	35.1	60.1

失業

失業者は總數6,202人あり、人口1,000人に付6.1人に當る。而して其の大部分は男にして5,739人即ち92.5%を占め、女は僅かに463人即ち7.5%に過ぎず。次に各市郡別に之を觀れば、彰化郡に於ける1,418人は其の數最も多く、失業者總數の22.9%を占め、次で大甲郡に於ける22.6%、大屯郡に於ける22.2%等にして、以下豊原郡、南投郡、員林郡、臺中市、竹山郡、東勢郡、北斗郡、新高郡、能高郡の順序に8.6%乃至0.7%の間にあり。然るに之を各市郡別人口の多寡に對比せしむれば、即ち人口1,000人に對する割合の最も大なるは大屯郡の15.6人にして、大甲郡の11.3人、彰化郡の8.4人、豊原郡の6.8人等は孰れも總數の場合に比し高率にして、竹山郡の5.9人、南投郡の5.7人、臺中市の4.3人、東勢郡の2.2人、員林郡の2.0人、新高郡の1.6人、能高郡の0.9人、北斗郡の0.7人等は孰れも低率なり。

一空一欄

市郡に依り分ちたる失業者

市、郡	總數	男	女	女百に付男	各人口千に付		
					總數	男	女
總 数	6 202	5 739	463	1 239.5	6.1	11.1	0.9
臺 中 市	234	219	15	1 460.0	4.3	7.5	0.6
大 屯 郡	1 377	1 184	193	613.5	15.6	26.4	4.5
豐 原 郡	537	489	48	1 018.8	6.8	12.3	1.2
東 勢 郡	90	70	20	350.0	2.2	3.3	1.0
大 甲 郡	1 404	1 386	18	7 700.0	11.3	22.3	0.3
彰 化 郡	1 418	1 348	70	1 925.7	8.4	15.8	0.8
員 林 郡	309	294	15	1 960.0	2.0	3.7	0.2
北 斗 郡	75	71	4	1 775.0	0.7	1.2	0.1
南 投 郡	447	407	40	1 017.5	5.7	10.1	1.0
新 高 郡	51	40	11	363.6	1.6	2.3	0.7
能 高 郡	41	40	1	4 000.0	0.9	1.7	0.0
竹 山 郡	219	191	28	682.1	5.9	10.0	1.6
水 面

失業者を本籍、民籍又は國籍に依り分てば、本島人最も多く6,063人即ち97.8%を占め、内地人114人即ち1.8%之に次ぎ、外國人24人(0.4%)、朝鮮人1人(0.0%)の順序なり。次に各人口1,000人に對する割合を求むれば、朝鮮人の17.5人は甚だ高率にして、本島人の6.2人も亦臺中州平均6.1人より稍々多く、外國人の4.6人及内地人の4.1人は平均以下とす。

失業者6,202人の年齢を檢するに、20—29歳級最も多く32.7%あり、次で30—39歳級の23.4%、40—49歳級の18.0%、19歳以下の16.1%、50—59歳級の8.2%、60歳以上の1.6%とす。更に之を有業者の同年齢級に對比せしむれば、19歳以下の有業者1,000人に對する同年齡級の失業者は11.2人に當り、20—29歳級に於ては19.4人となり、30—39歳級に於ては更に20.5人に增加して最高率を示せるも、40—49歳級に於ては少しく減少して20.3人となり、50—59歳級に於ては15.8人、60歳以上に至りて9.4人に低下せり。

失業者を失業當時の職業に依り大分類すれば、農業3,487人は其の數最も多く、失業者總數の56.2%あり、次は其の他の有業者1,480人即ち23.9%にして、以下工業9.3%、交通業4.0%、商業3.2%、公務自由業2.8%、家事使用人0.6%、鑄業(2人)、水產業(1人)各0.0%の順序とす。斯の如く農業及他の有業者に失業

者多きは前者に在りては其の他の農業労務者の失業3,395人(54.7%)、後者に在りては日傭労働者の失業1,326人(21.4%)といふが如く特に多數あるを以てなり。

職業(大分類)に依り分ちたる失業者

職業	総数	男	女	女百に付男	職業別百分比例		
					総数	男	女
總數	6,202	5,739	463	1239.5	100.0	100.0	100.0
1 農業	3,487	3,153	334	944.0	56.2	54.9	72.1
2 水産業	1	1	0.0	0.0	...
3 鎌業	2	2	0.0	0.0	...
4 工業	577	561	16	3506.3	9.3	9.8	3.4
5 商業	196	186	10	1860.0	3.2	3.3	2.2
6 交通業	251	247	4	6175.0	4.0	4.3	0.9
7 公務、自由業	173	169	4	4225.0	2.8	2.9	0.9
8 家事使用人	35	17	18	94.4	0.6	0.3	3.9
9 其の他の有業者	1,480	1,403	77	1822.1	23.9	24.5	16.6

次に本籍、民籍又は國籍別に之を見れば、内地人の失業者114人の中、公務自由業の45人及工業の37人は其の主なるものにして、此の兩者を以て既に七割餘を算す。朝鮮人の失業者は農業に1人あるのみなり。本島人の失業者6,063人の中、農業の3,476人及其の他の有業者の1,467人は其の主なるものにして、此の兩者を以て既に八割餘に及ぶ。外國人の失業者24人は工業にして、更に各本業者1,000人、商業及他の有業者各6人、農業4人なり。而して更に各本業者1,000人、商業及他の有業者各6人、農業4人なり。而して更に各本業者1,000人に對する失業率を求むれば、其の他の有業者の160.5人は各業中の首位にあり、以下鎌業の29.4%、交通業の25.2%、工業の18.1%等は孰れも總數の17.1%に比し高率なるも、家事使用人の14.3%、農業の13.6%、公務自由業の13.3%、商業の5.5%、水産業の0.5%等は孰れも低率なり。然るに今回の調査に於ける失業者は給料生活者又は労働者に就てのみ調査したるを以て、更に局限して本業ある者のうち産業上使用人の地位にある者235,210人に對する割合を見れば、1,000人に付26.4人に當る。各職業別に之を觀れば、其の他の有業者の161.9人は總數の場合に比し著しく高率にして、鎌業の34.5%、交通業の21.5%、工業の27.7%も亦其の割合多く、農業(20.8%)、公務自由業(15.9%)、家事使

用(14.3%)、商業(13.1%)、水産業(0.9%)等は孰れも低率なり。

出生地

總人口1,015,546人を出生地に依り分てば、本島内に於て出生したる者993,321人は其の數最も多く總人口の九割七分八厘を占む。蓋し本島人は殆ど全く本島に於て生れたる者なり。加之内地人及外國人等にして、島内に於て生れたる者も亦渺なからざるに依り、本島出生者の數斯の如く多數を算するものとす。本島出生の者を更に自州廳(臺中州)出生と他州廳出生とに區別すれば、其の大部分は前者にして、後者は僅かに總人口の四分三厘に過ぎず。本島出生に次ぐは内地出生なるも、其の數遙かに少なく17,682人即ち一分八厘にして、次は外國出生の4,424人即ち四厘とし、以下朝鮮出生82人、關東州出生4人、權太出生2人、水上出生1人にして、出生地不詳30人あり。之を大正九年國勢調査の結果に較ぶれば、島内出生の割合僅かに増加せり。之れ即ち自州廳出生は其の割合稍々減少したるも、他州廳出生の割合増加せるがためなり。而して島内出生の割合増加せる反面に於て島外出生の割合減少せるは勿論なり。

出生地に依り分ちたる人口

出生地	総数	男	女	女百に付男	出生地別百分比例			大正九年 國勢調査	
					総数	男	女	實數	割合
總數	1,015,546	517,826	497,720	104.0	100.0	100.0	100.0	776,830	100.0
島内出生	993,321	504,308	489,013	103.1	97.8	97.4	98.3	759,158	97.7
自州廳出生	949,563	481,486	468,077	102.9	93.5	93.0	94.1	731,404	94.1
他州廳出生	43,758	22,822	20,936	109.0	4.3	4.4	4.2	27,754	3.6
總數	22,225	13,518	8,707	155.3	2.2	2.6	2.7	17,672	2.3
内地出生	17,682	10,050	7,632	131.7	1.8	1.9	1.5	15,446	2.0
朝鮮出生	82	19	63	30.2	0.0	0.0	0.0	38	0.0
權太出生	2	1	1	100.0	0.0	0.0	0.0	2	0.0
關東州出生	4	2	2	100.0	0.0	0.0	0.0
外國出生	4,424	3,430	994	345.4	0.4	0.7	0.2	2,121	0.3
水上出生	1	...	1	...	0.0	0.0	0.0
出生地不詳	30	16	14	114.3	0.0	0.0	0.0	65	0.0

更に之を本籍、民籍又は國籍別に觀察するに、内地人に在りては、其の六割四分餘は内地出生にして、本島出生三割五分七厘あり、他は外國出生32人、朝

鮮出生26人、關東州出生3人、樺太出生2人、水上出生1人、出生地不詳2人とす。朝鮮人に在りては、本島出生1人を除く外總べて朝鮮出生なり。本島人に在りては、其の殆ど全部が島内出生にして、外國出生306人、内地出生39人、關東州出生1人、出生地不詳26人とす。外國人に在りては、其の約七割九分は外國出生にして、本島出生1,100人と出生地不詳2人あり。

不具者

不具者は聾啞、盲、白痴、瘋癲の四種に限り之を調査せり。但し聾啞には聾のみの者又は啞のみの者を含み、盲は兩眼とも盲したる者に限り、又白痴及瘋癲は世人の一般に之を認め得る程度とす。

臺中州に於ける不具者は總數4,329人あり、中男2,405人にして總數の55.6%を占め、女は1,924人即ち44.4%なり。之を大正九年國勢調査に於ける不具者總數5,479人(男2,699人、女2,780人)に較ぶれば、男に在りては294人、女に在りては856人減少せるを以て、總數1,150人の減少を見る。而して各人口1,000人に對する不具者の割合は、大正九年國勢調査に於けるものは7.1人(男6.7人、女7.4人)なるに對し、今回調査に依るもののは4.3人(男4.6人、女3.9人)なり。

不具者總數4,329人を不具の種類に依り分てば、最多は盲の2,530人にして總數の58.4%を占む。以下聾啞1,046人、白痴494人、瘋癲226人にして、二種以上の不具を兼ねる者33人あり。之を大正九年國勢調査に於けるものと比較するに、瘋癲は同數なるも、白痴は其の數稍々増加し、盲及聾啞は著しく其の數を減じ、二種以上の不具を兼ねる者も亦減少したり。

不具の種類に依り分ちたる不具者

不具の種類	總數	男	女	女百に付男	不具の種類別百分比例			大正九年國勢調査		
					總數	男	女	實數	割合	
總數	4,329	2,405	1,924	125.0	100.0	100.0	100.0	5,479	100.0	
一 種 の 者	聾啞	1,046	616	430	143.3	24.2	25.6	224	1,340	24.5
	盲	2,530	1,274	1,256	101.4	58.4	53.0	653	3,415	62.3
	白痴	494	355	139	255.4	11.4	14.8	72	442	8.1
	瘋癲	226	143	83	172.3	5.2	5.9	43	226	4.1
二種以上の不具を兼ねる者	33	17	16	106.3	0.8	0.7	0.8	56	1.0	

不具者を各市郡別に見れば、北斗郡の742人は其の數最も多く17.1%を占

め、次で彰化郡の15.1%、員林郡の13.6%、大甲郡の10.8%、能高郡及南投郡の各6.7%、新高郡の6.2%、大屯郡の6.1%、豐原郡の5.7%、竹山郡の4.3%、東勢郡の4.1%、臺中市の3.6%の順序なるも、之を各人口の多寡に對比せしむれば、人口1,000人に對する割合の最も大なるは新高郡の8.2人にして、北斗郡の6.6人之に次ぎ、以下能高郡、竹山郡、東勢郡、彰化郡、員林郡、大甲郡、南投郡、豐原郡、大屯郡、臺中市の順序に6.5人乃至2.9人の割合なり。

市郡に依り分ちたる不具者

市、郡	總數	一種の者			二種以上 の不具を兼 ねる者	總數	各人口千に付		
		聾啞	盲	白痴			一種の者	聾啞	盲
總數	4,329	1,046	2,530	494	226	33	4.3	1.0	2.6
臺中市	157	39	92	14	11	1	2.9	0.7	1.7
大屯郡	265	67	162	15	17	4	3.0	0.8	1.8
豐原郡	245	54	136	42	13	...	3.1	0.7	1.7
東勢郡	177	62	79	18	17	1	4.3	1.5	2.0
大甲郡	466	97	297	43	26	3	3.8	0.8	2.4
彰化郡	652	152	388	65	43	4	3.9	0.9	2.3
員林郡	591	114	372	65	35	5	3.9	0.8	2.5
北斗郡	742	98	576	36	26	6	6.6	0.9	5.1
南投郡	290	88	165	17	18	2	3.7	1.2	2.1
新高郡	267	90	58	112	4	3	8.2	2.8	1.8
能高郡	291	109	120	45	4	3	6.5	2.7	2.7
竹山郡	186	66	85	22	12	1	5.0	1.8	2.3
水面

不具者を本籍、民籍又は國籍に依り區別すれば、本島人4,307人は總數の九割九分五厘を占め、内地人19人、外國人3人にして、朝鮮人には不具者なし。次に各人口1,000人に對する割合を見るに、本島人の4.4人は總數の4.3人に比し稍々高率なるも、内地人の0.7人及外國人の0.6人は著しく低率なり。因に内地人に在りては、白痴7人は其の數最も多く36.8%あり、盲6人、聾啞4人、瘋癲2人等相次ぎ、二種以上の不具を兼ねる者なし。本島人に在りては、盲2,523人最も多く58.5%を占め、聾啞の24.2%、白痴の11.3%、瘋癲の5.2%等相次ぎ、二種以上の不具を兼ねる者0.8%あり。外國人に在りては、白痴2人及盲1人にして他の不具者なし。

不具者の年齢を検するに、50—59歳の者最も多く不具者総数の一割九分に當り、次は40—49歳の一割七分にして、以下60—69歳、20—29歳、30—39歳、70歳以上、10—19歳の順位に孰れも一割以上あり、9歳以下の三分は其の割合最も少なし。而して二種以上の不具を兼ねる者は姑く之を措き、不具の種類別に之を見れば、聾啞は10—19歳乃至40—49歳に在る者の割合多く、總數の七割三分に當る。盲は40—49歳以上に在る者の割合多く、總數の七割八分あり。白痴は10—19歳乃至50—59歳に在る者の割合多く、總數の九割三分に及ぶ。瘋癲に20—29歳乃至50—59歳に在る者の割合多く、總數の八割五分を占む。

年齢(八区分)に依り分ちたる不具者

年齢	総数	一種の者			二種以上の不具を兼ねる者			年齢別百分比例					
		聾啞	盲	白痴	瘋癲	總数	一種の者	聾啞	盲	白痴	瘋癲	二種以上の不具を兼ねる者	
總数	4,329	1,046	2,530	494	226	33	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0—9	145	78	47	19	1	...	3.3	7.5	1.9	3.8	0.4	...	
10—19	452	268	89	80	11	4	10.4	25.6	3.5	16.2	4.9	12.1	
20—29	557	225	175	114	40	3	12.9	21.5	6.9	23.1	17.7	9.1	
30—39	557	148	250	108	47	4	12.9	14.1	9.9	21.9	20.8	12.1	
40—49	720	125	441	90	58	6	16.6	12.0	17.4	18.2	25.7	18.2	
50—59	820	104	597	65	47	7	19.0	9.9	23.6	13.2	20.8	21.2	
60—69	590	55	495	15	20	5	13.6	5.3	19.6	3.0	8.8	15.2	
70以上	488	43	436	3	2	4	11.3	4.1	17.2	0.6	0.9	12.1	

不具者の配偶状態を見るに、最多は有配偶の37.1%にして、未婚33.0%、死別27.5%相次ぎ、離別2.4%は其の数最も少なし。不具の種類別に之を見るも亦、各種類とも離別の割合最も少なく、二種以上の不具を兼ねる者には離別全くなし。而して聾啞に在りては其の過半は未婚にして、有配偶、死別之に次ぐ。盲に在りては有配偶最も多く、死別之に次ぎ未婚は第三位とす。白痴に在りては未婚其の大部分を占め、有配偶、死別相次ぐ。瘋癲に在りては有配偶を最多とし、未婚、死別之に次ぐ。二種以上の不具を兼ねる者に在りては死別、未婚、有配偶の順序とす。

配偶關係に依り分ちたる不具者

不具の種類	總数	未婚	有配偶	死別	離別	配偶關係別百分比例			
						總数	未婚	有配偶	死別
總数	4,329	1,430	1,606	1,188	105	100.0	33.0	37.1	27.5
一種の者	聾啞	1,046	573	317	135	21	100.0	54.8	30.3
	盲	2,530	447	1,064	962	57	100.0	17.7	42.0
	白痴	494	317	122	39	16	100.0	64.2	24.7
	瘋癲	226	80	97	38	11	100.0	35.4	42.9
二種以上の不具を兼ねる者	33	13	6	14	...	100.0	39.4	18.2	42.4

不具者4,329人を職業の有無に依り分てば、其の大部分は無業者にして3,283人即ち75.8%あり、有業者は1,046人即ち24.2%なり。男女別に之を見れば男に在りては、總數の場合に比し無業者の割合稍々少なく64.0%にして、有業者は36.0%を示すも、女に在りては有業者の割合甚だ少なく、僅かに9.3%に過ぎずして、無業者は90.7%の大多數を占む。次に不具の種類別に有業者の割合を比較するに、聾啞に於ける其の45.7%は有業者の割合最も多く、次で白痴に於ける其の34.2%、盲に於ける其の14.4%、瘋癲に於ける其の13.7%、二種以上の不具を兼ねる者9.1%の順序なり。而して有業者1,046人を職業大分類に依り分てば、農業720人は其の数最も多く、公務自由業159人之に次ぎ、以下工業63人、商業57人、其の他の有業者25人、家事使用人12人、水産業6人、交通業4人の順序とす。

不具數 以上述べたるが如く不具者は總數4,329人にして、うち二種以上の不具を兼ねる者33人あり。而して此の二種以上の不具を兼ねる者は、總べて二種の不具を兼ねる者なり。今之を其の種類別に細別すれば、聾啞と盲の二種を兼ねる者17人、聾啞と白痴の二種を兼ねる者13人、聾啞と瘋癲の二種を兼ねる者2人、白痴と瘋癲の二種を兼ねる者1人なるを以て、之に一種の不具を合算して不具の延數を求むれば、盲2,547、聾啞1,078、白痴508、瘋癲229にして總數4,362なり。

内地人の本籍

内地人27,548人を其の本籍地に依り分てば、鹿児島縣最も多く3,806人あり、熊本縣の3,082人を第二位とし、第三位は福岡縣の1,625人にして、次で佐賀縣の1,258人、宮城縣の1,139人、廣島縣の1,017人等にして、山口、長崎、大分、東京、沖

繩、岡山、宮崎、新潟の一府七縣は920人乃至532人、愛媛、高知、茨城、大阪、愛知、岐阜、長野、福島、千葉、兵庫、石川、島根、香川、静岡、京都の二府十三縣は489人乃至304人、山形、和歌山、三重、福井、富山、滋賀、山梨、鳥取、栃木、群馬、神奈川、北海道、徳島、埼玉、奈良、秋田、岩手の一府十六縣は298人乃至114人にして、青森縣の68人最も少なし。

内地人の在臺年數

在臺年數は内地人にして、本島に寄留する者に就き其の始めて本島に住居を定めたる年、又は本島に於て出生したる年より起算し、昭和五年十月一日に至る間を暦年に依り、一年未満は之を一年として計算したり。但し一年以上引續き本島を離れたる者に就ては其の期間を控除せり。

而して内地人總數27,548人中、常住地が本島外に在る一時現在者375人を除外せる27,173人の在臺年數を検するに、38年即ち少なくも明治二十六年頃より在留する者一人あり、次で37年の者5人にして、36年の者に至りて俄然66人に増加せるは、蓋し改隸の年たる明治二十八年頃より在留する者なるを以てなり。而してそれより明治三十七年に至る十箇年間即ち在臺年數36年乃至27年の者は平均120人あり、次の十箇年間即ち在臺年數26年(明治三十八年)乃至17年(大正三年)の者は平均450人餘あり、次の十箇年間即ち在臺年數16年(大正四年)乃至7年(大正十三年)の者は平均1,020人餘あり、次は最近六箇年間即ち在臺年數6年(大正十四年)乃至1年(昭和五年)の者は平均1,870人の如く、在臺年數の久しきに従つて其の數を減じ、又反対に在臺年數の短かきに従つて其の數を増すは當然の現象といふべく、在臺年數8年(大正十二年)以下に於て既に總數の過半に達し、就中、在臺年數1年(昭和五年)の者は十月以降の三箇月を含まざるにも拘らず2,072人即ち總數の七分六厘あり、第二位を占む。

一：客　　闇：一

在臺年數に依り分ちたる内地人

在臺年數	總數	男		女百に 付男	在臺年數別百分比例	在臺年數別百分比例		
		男	女			總數	男	女
總　數	27 173	14 731	12 452	118.2	100.0	100.0	100.0	100.0
1　年	2 072	1 214	858	141.5	7.6	8.3	6.9	
2　年	2 435	1 416	1 019	139.0	9.0	9.6	8.2	
3　年	2 028	1 134	894	126.8	7.5	7.7	7.2	
4　年	1 727	928	799	116.1	6.3	6.3	6.4	
5　年	1 505	841	664	126.7	5.5	5.7	5.3	
6　年	1 454	764	690	110.7	5.3	5.2	5.6	
7　年	1 294	664	630	105.4	4.8	4.5	5.1	
8　年	1 234	628	606	103.6	4.5	4.3	4.9	
9　年	1 168	594	574	103.5	4.3	4.0	4.6	
10　年	1 251	607	644	94.3	4.6	4.1	5.2	
11　年	1 108	595	513	116.0	4.1	4.1	4.1	
12　年	943	527	416	126.7	3.5	3.6	3.3	
13　年	861	454	407	111.5	3.2	3.1	3.3	
14　年	893	463	430	107.7	3.3	3.1	3.5	
15　年	789	409	380	107.6	2.9	2.8	3.1	
16　年	694	354	340	104.1	2.6	2.4	2.7	
17　年	605	304	301	101.0	2.2	2.1	2.4	
18　年	715	377	338	111.5	2.6	2.6	2.7	
19　年	667	350	317	110.4	2.5	2.4	2.5	
20　年	646	369	277	133.2	2.4	2.5	2.2	
21　年	452	276	176	156.8	1.7	1.9	1.4	
22　年	375	195	180	108.3	1.4	1.3	1.4	
23　年	304	165	139	118.7	1.1	1.1	1.1	
24　年	286	151	135	111.9	1.1	1.0	1.1	
25　年	277	149	128	116.4	1.0	1.0	1.0	
26　年	181	72	109	66.1	0.7	0.5	0.9	
27　年	145	62	83	74.7	0.5	0.4	0.7	
28　年	166	89	77	115.6	0.6	0.6	0.6	
29　年	116	56	60	93.3	0.4	0.4	0.5	
30　年	168	94	74	127.0	0.6	0.6	0.6	
31　年	107	52	55	94.5	0.4	0.4	0.4	
32　年	116	72	44	163.6	0.4	0.5	0.4	
33　年	96	55	41	134.1	0.4	0.4	0.3	
34　年	114	79	35	225.7	0.4	0.5	0.3	
35　年	109	92	17	541.2	0.4	0.6	0.1	
36　年	66	64	2	3 200.0	0.2	0.4	0.0	
37　年	5	5	0.0	0.0	...	
38　年	1	1	0.0	0.0	...	

本島人の縷足者

本島人の縷足者は總數15,384人あり、本島人女總人口の三分二厘に當る。之を大正九年國勢調査の際に於ける同割合六分六厘に較べれば、三分四厘の減少を示せり。然るに本島人の女と雖も縷足の風習あるは、主にも福建人系統の者なるを以て、更に局限して福建人系統の女1,000人に對する割合を求むれば36.9人に當り、大正九年國勢調査に於ける同割合75.0人に比較すれば、割合に於て38.1人の減少を見る。因に大正九年國勢調査に於ける臺中州の縷足者は24,163人なり。

縷足者總數15,384人を各市郡別に見れば、最多は彰化郡に於ける3,703人即ち縷足者總數の二割四分に當り、大甲郡に於ける一割七分、員林郡に於ける一割五分、北斗郡に於ける一割三分、南投郡に於ける一割一分等の如く相次ぎ、竹山郡、豐原郡、大屯郡、臺中市、新高郡、能高郡、東勢郡等は孰れも縷足者總數の一割に達せず、殊に東勢郡に於ける一厘は其の數最も少なし。然るに之を各人口の多寡に對比せしむれば即ち本島人の女1,000人に對する割合の最も大なるは竹山郡に於ける64.3人にして、彰化郡に於ける44.8人第二位にあり、南投郡、大甲郡、北斗郡、員林郡、臺中市、新高郡、豐原郡、大屯郡の順序に44.6人乃至14.3人の間にあり、能高郡及東勢郡に於ける縷足者の割合は各其の郡に於ける本島人女の百分の一以下とす。

市郡に依り分ちたる縷足者

市、郡	縷足者	割合	本島人女 千に付	福建人女 千に付
總 数	15,384	100.0	31.8	36.9
臺 中 市	415	2.7	22.4	23.9
大 屯 郡	612	4.0	14.3	15.8
豐 原 郡	620	4.0	16.0	23.1
東 勢 郡	21	0.1	1.1	24.0
大 甲 郡	2,569	16.7	42.1	43.8
彰 化 郡	3,703	24.1	44.8	45.1
員 林 郡	2,255	14.7	30.7	31.1
北 斗 郡	1,976	12.9	35.5	38.3
南 投 郡	1,694	11.0	44.6	47.1
新 高 郡	295	1.9	20.1	33.5
能 高 郡	81	0.5	3.9	12.2
竹 山 郡	1,143	7.4	64.3	66.9
水 面

次に縷足者の年齢を檢するに、19歳以下の者は僅かに4人なるも、20—29歳の者に於ては25人即ち縷足者總數の0.2%となり、爾後漸増して60—69歳の者に於ける4,955人(32.2%)を以て各年齢級に於ける最高位とし、70歳以上の者は4,107人(26.7%)に減少せり。而して之を同年齢級に在る本島人女の數に對比せしむれば、70歳以上最高率にして1,000人に付493.7人を示し、60—69歳級の325.2人第二位にあり、第三位は50—59歳級の130.0人とし、以下40—49歳級の40.7人、30—39歳級の7.7人、20—29歳級の0.3人、19歳以下の0.0人の如く年齢級を下る毎に其の割合は漸次減少せり。

縷足者15,384人を職業大分類に依り分てば、其の九割五分は無業者にして、農業469人は有業者中の第一位にあり、次で工業の167人、商業の116人等は其の主なるものにして、以下家事使用人23人、其の他の有業者11人、水産業7人、公務自由業6人、交通業1人(鐵業全くなし)とす。而して之が各職業別人口に對する割合より見るときは、商業に於ける縷足者の割合最も多く、本島人の女にして商業に從事する者1,000人に付29.5人に當り、工業に於ける26.8人之に次ぎ、水産業、家事使用人、其の他の有業者、公務自由業、農業等に於ける縷足者の割合は15.5人乃至9.9人にして、交通業に於ける4.5人は其の割合最も少なし。

本島人の國語普及の程度

今回の調査に於ては、本島人の間に於ける國語普及の程度を國語を解し且読み書き得る者、國語を解し且読み得る者、國語を解するのみの者、國語を解せず読み書き得る者、國語を解せず読み得る者に區別して調査せり。然るに以上五者のうち其の數最も多きは、國語を解し且読み書き得る者の77,595人にして總數の過半を占め、國語を解せず読み書き得る者24,901人、國語を解せず読み得る者11,980人、國語を解するのみの者5,073人の如く相次ぎ、國語を解し且読み得る者2,763人最も少なし。而して總數122,312人を男女に分てば、男は99,096人即ち81.0%にして、女は23,216人即ち19.0%に當り、又女100人に對する男は426.8人に當るを以て、男女の均衡は4對1の割合なり。

國語普及の本島人

國語普及の程度	總數	男	女	女百に付男	國語普及の程度別百分比例		
					總數	男	女
總數	122,312	99,096	23,216	426.8	100.0	100.0	100.0
國語を解し且読み書き得る者	77,595	64,056	13,539	473.1	63.4	64.6	58.3
國語を解し且読み得る者	2,763	2,200	563	390.8	2.3	2.2	2.4
國語を解するのみの者	5,073	3,846	1,227	313.4	4.1	3.9	5.3
國語を解せず読み書き得る者	24,901	19,680	5,221	376.9	20.4	19.9	22.5
國語を解せず読み得る者	11,980	9,314	2,666	349.4	9.8	9.4	11.5

次に國語普及の本島人122,312人の人口に對する割合を求むれば、即ち本島人の人口1,000に付男は198.5人、女は48.0人にして、總數124.5人なり。各市郡別に之を見ると、其の割合の最も大なるは臺中市の258.2人にして、以下東勢郡、豐原郡、能高郡、大甲郡、彰化郡、大屯郡、竹山郡、新高郡、員林郡及南投郡の順序に191.5人乃至109.9人の間に在り、北斗郡の82.2人は人口の一割に達せず。

市郡に依り分ちたる國語普及の本島人

市、郡	總數	男	女	女百に付男	各人口千に付		
					總數	男	女
總數	122,312	99,096	23,216	426.8	124.5	198.5	48.0
臺中市	10,181	7,844	2,337	335.6	258.2	375.9	125.9
大屯郡	9,979	8,203	1,776	461.9	114.5	185.0	41.5
豐原郡	12,514	9,882	2,632	375.5	161.7	255.5	68.0
東勢郡	7,588	6,026	1,562	385.8	191.5	300.0	80.0
大甲郡	14,539	11,889	2,650	448.6	118.8	193.9	43.4
彰化郡	19,351	14,946	4,405	339.3	116.8	180.0	53.3
員林郡	16,564	14,297	2,267	630.7	109.9	185.1	30.9
北斗郡	9,204	8,090	1,114	726.2	82.2	143.8	20.0
南投郡	8,529	7,379	1,150	641.7	109.9	186.1	30.3
新高郡	3,518	2,752	766	359.3	112.8	166.6	52.2
能高郡	6,179	4,380	1,799	243.5	143.4	195.5	87.0
竹山郡	4,166	3,408	758	449.6	113.9	181.2	42.6
水面

國語普及の本島人122,312人の年齢を檢するに、9歳以下の者二割三分三厘あり、10—19歳の者は一躍四割九分二厘に激増して最高率を示せるも、20—29歳の者に至れば半減して二割四厘となり、以下30—39歳の者五分三厘、

40—49歳の者一分五厘、50—59歳の者三厘の如く遞減して60歳以上の者は其の以下とす。而して更に之を各年齢級に在る本島人數に對比せしむれば、依然10—19歳級高率にして、同年齡級の人口1,000人に付283.9人に當り、次で20—29歳級の149.2人、9歳以下の92.9人、30—39歳級の58.8人、40—49歳級の20.9人、50—59歳級の6.5人、60歳以上の1.4人の順序なり。

國語普及の本島人122,312人の職業を檢するに、其の58.5%即ち71,609人は無業者にして、有業者は50,703人即ち41.5%なり。而して有業者中24,279人は農業にして總數の19.9%あり、商業の9,462人(7.7%)之に次ぐ。以下工業(5.3%)、公務自由業(4.3%)、交通業(2.5%)、其の他の有業者(1.4%)、家事使用人(0.3%)、水産業(0.1%)の順序にして、鑛業(0.0%)は其の數最も少なし。之を男女各別に觀察するに、總數の場合に比し男に在りては無業者の51.6%と家事使用人の0.1%は低率なるも、農業23.1%以下の各業は孰れも高率なり。之に反し女に在りては無業者の88.4%と家事使用人の0.8%は高率なるも、農業の6.3%以下の各業は孰れも低率なり。但し水産業と鑛業に於ける割合は孰れも同率とす。

今回の調査に依る國語普及の本島人を大正九年國勢調査に於けるものと比較せんとするに、大正九年の調査に於ては國語を解する者、読み書き得る者、読み得る者の三者に區別して調査したる關係上、一人にて國語を解し且読み書き得る者は、國語を解する者としても、読み書き得る者としても之を計上し、又一人にて國語を解し且読み得る者も此の方法に依り、國語を解する者及読み得る者の兩者に之を計上したるを以て、一人にて何れかの二者可能なる者は、上述の如く重複して計算せられたる譯なり。然るに今回の調査に於ては前記の五者に區別して調査したるを以て、大正九年と比較するため今茲に、國語を解し且読み書き得る者77,595人と國語を解し且読み得る者2,763人、及國語を解するのみの者5,073人とを合算したる85,431人を大正九年國勢調査の國語を解する者20,823人に較ぶれば實に64,608人の増加にして、又國語を解し且読み書き得る者77,595人と國語を解せず読み書き得る者24,901人とを合算したる102,496人を大正九年國勢調査の読み書き得る者24,057人に較ぶれば78,439人の増加にして、又國語を解し且読み得る者2,763人と國語を解せず読み得る者11,980人とを合算したる14,743人を大正九年國勢調査の読み得る者4,641人に較ぶれば10,102人の増加なり。而して今回

の調査に依る以上の總數は202,670人にして、大正九年國勢調査に於ける總數は49,521人なるを以て、此の十年間に4倍の増加を示せり。是れ一面には人口の自然増加に伴ふ結果にも因るが、然らば之れが各人口に對する比率如何といふに、本島人の人口1,000人に對する割合は大正九年の調査に於ては65.6人に當り、今回の調査に於けるものは206.2人なるを以て、人口に對する割合に於ても亦3倍の増率を示せり。之を以て見るも近時本島人間に於ける文化の趨向を察知するを得べし。

本島人の間に於ける國語普及數

	總 數	男	女	女百に 付男	各人口千に付			
					總數	男	女	
昭和五年	總 數	202,670	165,352	37,318	443.1	206.2	331.3	77.2
	國語を解する者	85,431	70,102	15,329	457.3	86.9	140.4	31.7
	読み書き得る者	102,496	83,736	18,760	446.4	104.3	167.8	38.8
	読み得る者	14,743	11,514	3,229	356.6	15.0	23.1	6.7
大正九年	總 數	49,521	44,363	5,158	860.1	65.6	113.8	14.1
	國語を解する者	20,823	18,739	2,084	899.2	27.6	48.1	5.7
	読み書き得る者	24,057	21,580	2,477	871.2	31.9	55.3	6.8
	読み得る者	4,641	4,044	597	677.4	6.1	10.4	1.6

註 本表は國語普及の延數なり。

統計表

居、世帶及人口

人口												人口ノ増減(△△減)				
朝鮮人				本島人			外國人			自大正十四年至昭和五年		自大正九年至大正十四年				
總數	男	女	總數	男	女	總數	男	女	實數	割合	實數	割合	實數	割合	實數	割合
57	8	49	982 753	499 134	483 619	5 188	3 729	1 459	149 717	172.9	88 599	114.6				
17	1	16	39 431	20 865	18 566	1 526	1 076	450	13 146	320.3	9 503	301.3				
...	1 745	986	759	51	37	14				
...	539	290	249	95	85	10				
...	867	538	329	107	77	30				
...	233	144	89	25	22	3				
...	961	561	400	146	101	45				
...	1 847	903	854	486	332	154				
...	1 474	781	693	169	112	57				
...	1 326	681	645	60	41	19				
16	1	15	987	483	504	60	50	10				
...	2 089	1 057	1 032	89	69	20				
...				
...	845	423	422				
...	396	195	201	3	2	1				
...	142	80	62	10	8	2				
...	503	488	15	13	13				
...	80	42	38				
...				
...	50	29	21	4	4	4				
...	12	6	6				
...	101	49	52				
...	567	299	268	9	6	3				
...	358	179	179	2	2	2				
...	168	76	92				
...	1 115	556	559	13	7	6				
...	509	259	250	2	1	1				
...	797	408	389	3	1	2				
...	1 068	549	519	11	5	6				
...	1 566	811	755	29	22	7				
...	259	124	135				
...	1 332	655	677	27	16	11				
...	1 089	668	421	7	7	7				
...	3 280	1 625	1 655	59	37	22				
...	529	362	167				
...	3 551	1 861	1 690	25	11	14	1 482	677.3	335	180.8				
...	546	296	250				
...	713	361	352				
...	2 508	1 278	1 230	9	6	3	553	273.1	522	347.3				
...	1 247	627	620	3	3	3	191	177.5	170	187.6				
...	763	381	382	78	110.5	88	142.4				
...	274	132	142	26	104.8	48	240.0				
...	491	261	230	119	319.9	27	78.3				
...	2 504	1 271	1 233	9	4	5	796	462.0	721	719.6				
...	87 144	44 329	42 815	182	114	68	7 790	97.0	II 346	164.6				
...	9 622	4 847	4 775	26	16	10	947	108.4	672	83.3				
...	1 976	988	988	11	9	2	257	146.2	29	16.8				
...	403	198	205	13	31.3	19	47.9				
...	1 306	659	647	1	1	1	31	24.2	254	247.6				
...	898	432	466	1	1	99	123.8				
...	1 667	837	830	7	4	3	198	134.1	90	64.9				
...	453	245	208	47	115.8	6	14.6				
...	1 468	755	713	1	1	1	292	248.1	125	118.8				
...	1 451	733	718	6	4	4	136	102.7	62	49.4				
...	14 896	7 606	7 390	69	37	32	943	66.8	2 968	266.5				
...	7 167	3 636	3 531	63	35	28	502	74.1	2 163	469.3				
...	1 648	863	785	4	3	3	104	67.0	126	88.3				
...	1 762	881	881	237	155.4	98	68.7				
...	2 997	1 563	1 434	2	1	1	2	0.7	494	195.0				
...	1 322	663	659	97	79.1	87	76.4				

1 町、大字、社別住

町、大字、社	住居</th
--------	--------

居、世、帶、及、人、口、(續)

人口										人口ノ増減(△△減)					
			朝鮮人			本島人			外國人			自大正十四年翌昭和五年		自大正九年至大正十四年	
總數	男	女	總數	男	女	總數	男	女	總數	男	女	實數	割合	實數	割合
...	9 822	5 041	4 781	10	6	4	△ 648	△ 61.7	2 956	391.3			
...	2 875	1 442	1 433	7	3	4	196	72.5	387	167.0					
...	717	368	349	14	△ 19.2	215	416.7					
...	728	357	371	39	56.6	96	161.9					
...	2 524	1 298	1 226	1	1	...	77	△ 29.6	523	251.4					
...	2 978	1 576	1 402	2	2	...	△ 792	△ 209.4	1 735	847.2					
...	19 366	9 723	9 643	8	4	4	1971	112.1	2 824	191.4					
...	1 265	614	651	101	86.4	104	97.7					
...	851	425	426	173	255.2	64	104.2					
...	2 167	1 060	1 07	313	168.1	359	238.9					
...	1 789	881	908	△ 108	△ 56.0	580	440.1					
...	880	444	436	88	111.1	115	169.9					
...	1 869	941	928	319	201.9	170	120.6					
...	1 749	909	840	5	1	4	275	175.4	568	568.0					
...	1 326	668	658	149	126.6	80	72.9					
...	554	272	282	70	144.6	31	68.4					
...	1 490	733	757	1	1	...	127	92.8	77	59.6					
...	339	177	162	32	104.2	23	81.0					
...	798	406	392	72	95.7	29	40.1					
...	190	102	88	40	266.7					
...	503	255	248	37	79.4	56	136.6					
...	838	424	414	70	91.1	32	43.5					
...	553	289	264	20	37.5	23	45.1					
...	2 205	1 123	1 082	2	2	...	233	117.4	473	313.0					
...	13 088	6 681	6 407	18	15	3	1 526	131.0	849	78.6					
...	2 013	1 062	951	6	4	2	347	204.1	88	54.6					
...	616	315	301	16	26.7	4	6.6					
...	933	475	458	97	116.0	128	180.8					
...	1 206	595	611	159	150.1	35	34.2					
...	2 076	1 072	1 004	5	5	...	217	116.0	185	109.8					
...	474	255	219	41	94.7	5	11.7					
...	462	222	240	39	92.2	13	31.7					
...	592	366	286	13	22.5	17	30.2					
...	874	431	448	8	9.2	97	126.0					
...	852	438	414	153	218.9	9	12.7					
...	1 071	529	542	1	1	...	114	119.0	74	83.7					
...	528	268	266	1	1	...	90	205.0	68	183.3					
...	1 391	713	678	5	5	...	232	195.9	152	147.3					
...	10 120	5 182	4 938	17	13	4	1 230	137.5	454	53.5					
...	957	484	473	13	10	3	9	9.3	71	78.8					
...	450	233	216	7	15.8	77	210.4					
...	844	418	426	173	253.7	29	44.4					
...	518	272	246	76	171.9	44	110.6					
...	659	341	318	78	132.7	11	19.1					
...	520	276	244	1	1	...	74	165.5	43	106.4					
...	348	185	163	34	108.3	19	64.4					
...	310	170	149	54	203.8	4	15.3					
...	648	320	328	1	1	...	145	283.8	30	63.4					
...	600	310	290	85	105.0	8	15.3					
...	936	467	460	2	2	...	127	156.6	64	85.7					
...	255	123	132	17	71.4	33	101.0					
...	448	223	225	61	157.6	149	278.0					
...	844	435	400	74	96.1	114	173.8					
...	349	182	167	38	122.2	39	143.4					
...	302	169	133	47	184.3	11	45.1					
...	380	179	201	6	15.5	16	43.2					
...	743	394	349	137	226.1	6	10.0					

1町、大字、社別住

1 町、大字、社別住

町、大字、社	住居	世帯	人					
			總數			内地人		
			總數	男	女	總數	男	女
鳥日庄	1876	1876	10581	5444	5137	317	172	145
日	399	399	1910	974	936	275	148	127
勝	254	254	1516	816	700	19	10	9
狹	91	91	561	269	292
狹	165	165	853	445	408
哩	55	55	281	144	137
頭	47	47	286	149	137
蘆	32	32	177	95	82
前	201	201	1259	652	607	17	9	8
竹	335	335	1926	989	937	5	4	1
心	170	170	1046	530	516	1	1	...
安	127	127	766	381	385
豐原鄉	12225	12234	79293	39748	39545	1597	852	745
豐原街	4396	4400	27263	13657	13606	732	371	361
原	1788	1792	9491	4723	4768	506	246	260
浦	343	343	2373	173	1200	16	8	8
寮	184	184	1132	551	581
口	105	105	848	398	450
坑	509	509	3596	1853	1743	149	84	65
子南坑	391	391	2649	1329	1320	4	2	2
子南坑	403	403	2483	1234	1250	41	22	19
牛子路	228	228	1456	728	728
牛子路	214	214	1564	816	754
牛子路	116	116	821	420	401
牛子路	115	115	849	438	411	16	9	7
內埔庄	2569	2572	15724	7895	7829	477	259	218
屯子塘	645	647	3872	1949	1923	32	23	9
中和社	197	197	1354	672	682
舊社	168	168	1160	578	582	3	3	...
四月	360	360	2527	1258	1269	8	4	4
下	449	449	2429	1254	1175	295	152	143
上翁	269	269	1484	737	747	19	11	8
翁	184	185	1096	553	543	57	30	27
舊	69	69	418	215	203	43	25	18
四	104	104	577	278	299	20	11	9
中	66	66	403	197	206
公新	29	29	241	116	125
神岡庄	2203	2204	15106	7423	7683	77	46	31
新山莊	302	302	1970	984	986	29	17	12
北莊	158	158	1021	508	513
社	56	56	390	195	195	7	3	4
大	269	269	1776	875	901
三	284	284	1952	963	989	4	3	1
下	292	292	2609	972	1037	14	8	6
社	259	260	1595	763	832	6	3	3
角	165	165	1195	580	615
溪	418	418	3198	1583	1615	17	12	5
大雅庄	1495	1495	10666	5359	5307	73	43	30
大樹	242	242	1251	628	623	24	12	12
上	61	61	471	217	254
埔	221	221	1668	863	805	15	10	5
樹	68	68	566	278	288
楓	78	78	531	272	259
員	37	37	306	158	148
莊	63	63	476	236	240

居、世帯及人口(續)

朝鮮人	口						人口ノ増減(△八減)				
	本島人			外國人			自大正十四年至昭和五年		自大正九年至大正十四年		
	總數	男	女	總數	男	女	實數	割合	實數	割合	
...	10230	5249	4981	34	23	11	1822	208.0	623	76.6	
...	1619	817	802	16	9	7	327	206.6	418	358.8	
...	1497	806	691	182	136.4	57	44.6	
...	561	269	292	64	128.8	
...	844	437	407	9	8	1	133	184.7	77	96.6	
...	281	144	137	51	221.7	23	111.1	
...	286	149	137	94	489.6	10	49.5	
...	176	94	82	1	1	1	44	330.8	3	22.1	
...	1241	642	599	1	1	1	294	304.7	28	28.2	
...	1914	981	933	7	4	3	312	193.3	50	32.0	
...	1045	529	516	232	285.0	113	161.2	
...	766	381	385	89	131.5	80	134.0	
...	2	77383	38680	38703	311	216	95	9453	135.4	5778	90.2
...	2	26305	13127	13178	224	159	65	3641	154.1	2660	126.9
...	2	8794	4343	4451	189	134	55	1294	157.9	980	135.8
...	2	2357	1165	1192	309	184.1	312	184.4
...	1129	550	579	3	1	2	162	167.0	64	70.6	
...	848	398	450	120	174.5	63	95.6	
...	3421	1747	1674	26	22	4	759	267.5	417	172.3	
...	2	2639	1325	1314	6	2	4	386	170.6	188	90.6
...	2	2443	1212	1231	171	73.9	216	103.0
...	1456	728	728	87	63.6	126	96.1	
...	1564	810	754	178	128.4	112	87.9	
...	821	420	401	88	120.1	133	221.7	
...	833	429	404	21	25.4	55	71.2	
...	15199	7603	7596	48	33	15	2275	169.2	1454	121.2	
...	3809	1903	1906	31	23	8	583	177.3	467	165.5	
...	1354	672	682	103				

1 町、大字、社別住人

町、大字、社	住居	世帯	人							
			總數			内地人				
			總數	男	女	總數	男	女		
横濱員	山	110	110	756	399	357	2	1	1	
員	山	190	190	1264	619	645	17	11	6	
員	林	149	149	1168	582	586	12	8	4	
員	肩	74	74	591	299	292	
員	銘	93	93	666	337	329	
馬	心	84	84	777	388	389	3	1	2	
大	心	25	25	175	83	92	
潭	子	庄	1562	1563	10534	5414	5120	238	133	105
大	子	庄	206	206	1660	845	815
潭	瓦	庄	475	476	2608	1363	1245	193	106	87
潭	頭	庄	117	117	672	336	336	2	1	1
潭	甘	庄	107	107	759	391	368
潭	東	庄	77	77	605	316	289
潭	聚	庄	168	168	1296	661	625	13	9	4
潭	校	庄	158	158	1151	583	568	18	10	8
潭	東	庄	139	139	1031	532	499	12	7	5
潭	聚	庄	115	115	752	387	365
東	勢	都	7682	7126	41022	20919	20103	1306	763	543
東	勢	庄	3409	3416	20995	10541	10454	480	248	232
東	新	石	1836	1843	10432	5217	5215	457	234	223
東	大	石	544	544	3814	1910	1904
東	石	校	362	362	2324	1193	1131	10	6	4
東	石	校	352	352	2350	1482	1168	11	7	4
東	石	校	205	205	1433	709	724
東	石	校	110	110	642	330	312	2	1	1
石	岡	庄	1084	1085	7610	3681	3929	92	43	49
石	仙	庄	65	65	467	219	248	3	1	2
石	土	庄	342	342	2267	1096	1171	67	31	36
石	石	庄	224	224	1580	757	823	2	1	1
石	石	庄	453	454	3296	1609	1687	20	10	10
新	社	庄	1280	1287	7942	4049	3893	153	92	61
新	島	社	308	309	1974	976	998	31	19	12
新	水	社	47	47	332	160	172
新	水	社	57	57	368	185	183
新	水	社	543	549	2990	1586	1404	46	35	11
新	水	社	130	130	908	451	457	76	38	38
七	分	力	143	143	1017	514	503
七	七	力	52	52	353	177	176
蕃	地	地	1309	1338	4475	2648	1827	581	380	231
蕃	牛	坑	79	79	274	167	167	27	16	11
蕃	稍	坑	40	40	166	107	59	10	8	2
蕃	沙	坑	26	26	110	71	39
蕃	東	坑	49	49	191	116	75	36	26	10
蕃	白	坑	74	89	293	203	90
蕃	裡	溪	54	54	202	109	93	8	3	5
蕃	久	柄	145	146	467	270	197	53	33	20
蕃	八	山	301	306	613	426	187	265	180	85
蕃	稍	山	58	58	250	143	107	15	11	4
蕃	白	社	58	65	300	191	109	12	8	4
蕃	阿	社	33	33	157	86	71
蕃	カ	社	44	44	147	83	64	24	16	8
蕃	シ	社	51	51	150	80	70	35	21	14
蕃	雪	社	74	74	331	167	164	28	17	11
蕃	ウ	社	33	33	120	63	57	8	6	2
蕃	イ	社	87	87	276	137	139	35	21	14
蕃	老	坑	37	37	143	94	49
蕃	老	山	66	66	285	135	150	25	14	11
蕃	老	山	87	87	276	137	139	35	21	14

居、世帯及人口 (續)

町、大字、社	住居	世帯	口						人口ノ増減 (△八減)				
			朝鮮人		本島人		外國人		自大正十四年至昭和五年		自大正九年至大正十四年		
			總數	男	女	總數	男	女	總數	男	女	實數	
横濱員	山	110	754	398	356	39	54.4	△	53 △ 68.8	
員	山	190	1247	618	639	121	105.9	△	29 △ 24.7	
員	林	149	156	574	582	79	72.5	△	99 △ 100.0	
員	肩	74	591	299	292	70	134.4	△	46 △ 96.8	
員	銘	93	665	337	328	1	1	1	1	1.5	△	5 △ 7.5	
馬	心	84	774	387	387	79	113.2	△	84 △ 107.4	
大	心	25	175	83	92	18	114.6	△	34 △ 276.4	
潭	子	庄	1562	10274	5269	5005	22	12	10	821	84.5	△	702 △ 77.9
潭	大	庄	206	1660	845	815	21	12.8	△	88 △ 56.7	
潭	潭	庄	475	2393	1245	1148	22	12	10	562	274.7	△	362 △ 215.0
潭	潭	庄	117	670	335	335	45	71.8	△	41 △ 61.4	
潭	潭	庄	107	759	391	368	71	103.2	△	30 △ 45.6	
潭	潭	庄	77	605	316	289	23	39.5	△	65 △ 125.7	
潭	潭	庄	168	1283	652	631	90	74.6	△	33 △ 26.6	
潭	潭	庄	158	1133	573	560	...						

1 町、大字、社別住人

町、大字、社	住居	世帯	人					
			總數			内地人		
			總數	男	女	總數	男	女
大甲郡	19336	19347	123920	62193	61727	1107	583	524
清 水 街	4493	4497	29365	14754	14611	420	212	208
水	1335	1338	7204	3577	3627	315	154	161
口	350	350	2374	1169	1205	29	13	16
榔	402	402	2907	1411	1496
水厝	336	336	2274	1158	1116	9	5	4
美	415	416	3117	1572	1545	11	6	5
厝	382	382	2655	1358	1297	27	13	14
寮	399	399	2898	1405	1433	13	7	6
厝	195	195	1406	700	706	4	3	1
寮	208	208	1577	820	757
寮	238	238	1504	767	737	12	11	1
梧 樓 街	1812	1812	12306	6099	6207	37	21	16
梧 母	807	807	5064	2430	2634	30	18	12
鴨 庄	271	271	1902	965	937	1	1	...
大南	404	404	3426	1751	1675	6	2	4
梧 樓 街	270	270	1914	953	961
大 甲 街	3699	3702	21723	10851	10872	262	147	115
大 甲 子	841	844	4292	2129	2163	194	106	88
大 番 庄	67	67	390	211	179	2
橫 社	375	375	1978	979	999	2
營 山	95	95	627	301	326
外 頂 日	308	308	2146	1085	1061
外 頂 日	101	101	641	304	337
外 頂 日	328	328	1565	786	779	33	21	12
外 頂 日	75	75	448	224	224
外 頂 日	212	212	1378	680	689
外 頂 日	185	185	1330	633	697	6	4	2
外 頂 日	152	152	924	499	425	8	6	2
外 頂 日	97	97	607	303	304
外 頂 日	255	255	1456	755	701	19	10	9
外 頂 日	100	100	662	344	318
外 頂 日	69	69	425	210	215
外 頂 日	94	94	651	315	336
外 頂 日	76	76	355	170	185
外 頂 日	60	60	324	152	172
外 頂 日	16	16	90	48	42
外 頂 日	118	118	733	360	373
外 頂 日	75	75	701	354	347
外 埔 庄	1281	1281	8320	4164	4156	32	19	13
外 埔 庄	217	217	1466	730	736	1	1	...
外 埔 庄	193	193	1324	675	649
外 埔 庄	168	168	968	473	495
外 埔 庄	122	122	658	351	397
外 埔 庄	121	121	925	470	455
外 埔 庄	317	317	2004	986	1018	31	18	13
外 埔 庄	77	77	490	245	245
外 埔 庄	66	66	485	234	251
大 安 庄	1395	1395	9337	4693	4644	25	13	12
大 安 庄	128	128	876	419	457	11	5	6
大 安 庄	95	95	632	320	312
大 安 庄	108	108	738	396	342
大 安 庄	120	120	871	422	449
大 安 庄	48	48	384	193	191
大 安 庄	31	31	220	120	100
大 安 庄	103	103	667	355	312

居、世帯及人口 (續)

町、大字、社	住居	世帯	人口						人口ノ増減 (△八減)				
			朝鮮人			本島人			外國人			自大正十一年至昭和五年	自大正九年至大正十四年
			總數	男	女	總數	男	女	總數	男	女	實數	割合
大甲郡	19336	19347	123920	62193	61727	1107	583	524	122393	61303	61090	420	307
清 水 街	4493	4497	29365	14754	14611	420	212	208	28855	14476	14379	90	66
水	1335	1338	7204	3577	3627	315	154	161	6812	3366	3446	77	57
口	350	350	2374	1169	1205	29	13	16	2340	1151	1189	5	5
榔	402	402	2907	1411	1496	2901	1409	1492	0	4
水厝	336	336	2274	1158	1116	9	5	4	2265	1153	1112
美	415	416	3117	1572	1545	11	6	5	1449	757	692
厝	382	382	2655	1358	1297	27	13	14	3104	1564	1540	2	2
寮	399	399	2898	1405	1433	13	7	6	2628	1345	1283
寮	195	195	1406	700	706	4	3	1	2885	1458	1427
寮	208	208	1577	820	757	1402	697	705
寮	238	238	1504	767	737	12	11	1	1577	820	757
梧 樓 街	1812	1812	12306	6099	6207	37	21	16	1492	756	736
梧 母	807	807	5064	2430	2634	30	18	12	12217	6047	6170	52	31
鴨 母	271	271	1902	965	937	1	1	...	4990	2389	2601	44	23
大南	404	404	3426	1751	1675	6	2	...	1901	964	937	6	5
梧 母	270	270	1914	953	961	3414	1743	1671	2	2
梧 樓 街	270	270	1914	953	961	1912	951	961
大 甲 街	3699	3702	21723	10851	1087								

1 町、大字、社別住人

町、大字、社	住居	世帯	人					
			總數			内地人		
			總數	男	女	總數	男	女
溪牛三頂田	洲	51	51	381	199	182
	浦	61	61	392	196	196
	甲	14	14	115	64	51
	安	31	31	216	111	105
	子	36	36	229	111	118
	安	131	131	958	475	483
	浦	76	76	531	269	262
	脚	177	177	929	448	481	14	8
	踏	54	54	337	174	163
	脚	34	34	248	127	121
下北海下頂松	脚	88	88	613	294	319
	鹿	2716	2720	17929	9042	8887	184	93
	莊	897	901	5125	2625	2500	150	77
	勢	319	319	2195	1107	1088	9	5
	勢	479	479	3542	1800	1742	10	5
	竹	256	256	1916	984	932	6	2
	公	350	350	2145	1046	1099	7	3
	勢	112	112	765	385	380	2	1
	勢	303	303	2241	1095	1146
	鹿	1777	1777	10805	5454	5351	107	59
龍井頭	井	2163	2163	14135	7136	6999	40	19
	井	622	622	3752	1894	1858	12	6
	頭	59	59	480	240	240
	葛	143	143	898	455	443	1	1
	目	344	344	2073	1044	1029	22	9
	井	230	230	1712	838	874
	頭	479	479	3270	1667	1603	5	3
	井	286	286	1950	998	952
	頭	1777	1777	10805	5454	5351	107	59
	庄	605	605	3509	1795	1714	45	23
大肚王井子	肚	354	354	2020	1015	1005	5	4
	脚	261	261	1563	800	703	56	32
	田	355	355	2266	1138	1128	1	1
	頭	202	202	1447	706	741
	子	1910	1913	10438	5305	5133	584	302
	子	638	639	3330	1670	1660	216	104
	井	356	358	2138	1092	1046	6	4
	打	266	266	1461	759	702	1	1
	打	393	393	1846	974	872	354	190
	打	257	257	1663	810	853	7	3
彰化街	彰	30230	30261	169513	85214	84299	2827	1479
	化	4645	4667	22419	11176	11243	1363	688
	化	4645	4667	22419	11176	11243	1363	688
	街	6514	6517	35455	17699	17756	265	137
	港	4175	4178	22179	10891	11288	226	114
	港	403	403	2216	1114	1102	12	7
	港	205	205	1147	597	550
	港	360	360	2138	1081	1057	5	3
	港	78	78	397	196	201
	港	398	398	2360	1222	1138	5	2
鹿港街	港	150	150	819	430	389	9	6
	港	183	183	903	502	401	5	3
	港	159	159	790	411	379
	港	228	228	1312	674	638
	港	175	175	1134	581	553	3	2
	庄	1910	1913	10438	5305	5133	584	302
	庄	638	639	3330	1670	1660	216	104
	庄	356	358	2138	1092	1046	6	4
	庄	266	266	1461	759	702	1	1
	庄	393	393	1846	974	872	354	190
南郭門	郭	257	257	1663	810	853	7	3
	郭	1910	1913	10438	5305	5133	584	302
	郭	638	639	3330	1670	1660	216	104
	郭	356	358	2138	1092	1046	6	4
	郭	266	266	1461	759	702	1	1
	郭	393	393	1846	974	872	354	190
	郭	257	257	1663	810	853	7	3
	郭	1910	1913	10438	5305	5133	584	302
	郭	638	639	3330	1670	1660	216	104
	郭	356	358	2138	1092	1046	6	4

居、世帯及人口

(續)

朝鮮人	本島人	外國人	人口増減(△△減)		
			自大正十四年至昭和五年		自大正九年至大正十四年
			實數	割合	實數
...	86	291.5	6 △ 19.9
...	51	149.6	44 △ 148.1
...	17	128.8	30 △ 185.2
...	18	90.9	99 △ 333.3
...	55	193.7	27 △ 105.1
...	124	148.7	119 △ 166.4
...	104	243.6	84 △ 244.9
...	87	103.3	61 △ 78.1
...	22	61.3	48 △ 154.3
...	73	417.1	25 △ 125.0
...	88	167.6	94 △ 218.1
...	17635	8871	8764 △ 1664
...	17	344	355.5 △ 126.8
...	4879	2477	2402 △ 109.2
...	2181	1098	1083 △ 222
...	3524	1792	1732 △ 131.8
...	1910	982	928 △ 110.9
...	2138	1043	1095 △ 126.3
...	762	384	378 △ 96.2
...	2241	1095	1146 △ 30.8
...	14092	7114	6978 △ 5.3
...	3740	1888	1852 △ 44.3
...	480	240	240 △ 130.3
...	896	453	443 △ 141.6
...	204		